

| | | |
|-------------|---------------|----------------------------|
| 交渉情報 | NO.142 | 郵便事業会社信越支社 オペレーション部・総務部 |
| JP労組 信越地方本部 | 2012年5月30日 | 添付資料:4枚 |

平成24年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理について

郵便事業会社信越支社オペレーション部は、本日（5月30日）「平成24年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理」について地方本部に説明してきました。

標記の趣旨は、区分機配備の一般支店において、年賀郵便物の差立集中処理及び2パス集中処理を行なうこと、また、年賀郵便物処理を円滑に行なうため、深夜勤務を実施するものです。

平成24年度年賀郵便物集中処理計画は、別紙1を参照願います。

昨年との相違は、燕支店において実施していた巻集配S並びに西川集配Sの引受・取集年賀郵便物の差立集中処理を新潟支店に移管するものです。両集配Sからは新潟支店宛の最終便に積載し、結果、燕支店への連絡便のコスト低減がはかられるとされています。また、新発田支店、松本支店、飯田支店については、1日の最大処理数が想定されており、これを超過した場合は、ブロック統括支店に移管されますが、各統括支店の処理能力については、対応可能としています。2パス集中処理計画は昨年と同様です。

なお、深夜勤実施11支店及び実施期間、勤務パターンの選択、要員配置、後補充対応についても昨年同様の内容です。

地本では、この時期に年賀集中処理計画を示す理由及びスケジュールを質したところ、8月10日までに統括支店における区分機稼働計画を作成し、各（被集中）支店に提示した後、9月14日までに各支店での勤務パターンの選択やサービス表改正の有無を決定するため、早々に地本説明を要したとしました。

サービス表改正が必要な支店については、支部交渉が行なわれますので、ルールに基づき対応のこととします。（実施日の16日前組合提示、交渉整理後、8日前社員説明）

【労使対応】 当該11支店では支店窓口